

創業者の思いを継承して

70年前、当時の「岩塚村」は雪深い農村で、村の人々は出稼ぎをしなければ生活ができないという小規模農家が集まる地域でした。戦後、荒廃した日本を憂い二人の青年は「この地域に産業を興して出稼ぎに行かなくても生活ができるようにしたい」「身上をつぶしても何か事業を興し、ふるさと岩塚を豊かにしたい」と並々ならぬ思いで、昭和22年（1947年）に「岩塚農産加工場」を創業しました。

知識も技術もないなかで歩み出した米菓製造の道。原料である米と向き合い、悪戦苦闘しながら失敗を恐れず創意工夫を重ねるといふ、チャレンジ精神は今日まで継承されています。また、「農産物の加工品は、原料より良いものにはできない。だから良い原料を使用しなくてはならない。ただし、良い原料からまずい加工品もできる。だから、加工技術はしっかり身につけなければならない。いくら加工技術を身につけても、悪い原料から良いものにはできない。」という、創業者の言葉が物づくりの根幹に生きています。

私たちは、これからも創業者の思いを胸に刻み「米・技・心」という言葉に凝縮して、新たな消費社会に「創新と協働の精神」で成長を続け、未来へ継承してまいります。



会社の概要 (2017年9月30日現在)

社名	岩塚製菓株式会社 IWATSUKA CONFECTIONERY CO.,LTD.
本社所在地	新潟県長岡市浦9750番地
設立	1954年4月27日
資本金	16億3,475万円
従業員数	(連結)1,012名 (単体)915名
主な事業所	本社、R & D・Mセンター (工場) 沢下条(第一・第二・第三・第四)工場、 飯塚工場、中沢工場、長岡工場、千歳工場 (支店) 広域(第一・第二・第三)支店、北海道支店、 東北支店、信越支店、東京東支店、東京西支店、 中部支店、関西支店、中国九州支店
ホームページ	http://www.iwatsukaseika.co.jp/

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月(基準日 3月31日)
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日(中間配当を行う場合)
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
お取扱窓口	お取引の証券会社等。特別口座管理の場合は、 特別口座管理機関のお取扱店。
特別口座管理機関お取扱店	みずほ証券およびみずほ信託銀行 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行 (みずほ証券では取次のみとなります)

株主優待制度

当社株式を100株以上お持ちの株主様に当社製品を、9月30日現在の株主様には11月に、3月31日現在の株主様には6月に贈呈いたします。

100株以上の株主様 1,000円相当
500株以上の株主様 2,000円相当
1,000株以上の株主様 5,000円相当

*2,000株以上お持ちの9月30日現在の株主様には翌年3月、3月31日現在の株主様には9月にも贈呈いたします。
*2,000株以上の株主様 5,000円相当

なお、基準日以降に住所変更のお手続きをされた方は、ご優待品が届かない場合がございますので、予め当社までご連絡ください。
岩塚製菓株式会社 総務部総務課 〒949-5492 新潟県長岡市浦9750番地
Tel: 0258-92-4111 Fax: 0258-92-6060



株主通信 第65期第2四半期

2017年4月1日～2017年9月30日

おかげさまで70周年



株主の皆様へ



代表取締役社長
榎 春夫

平素は岩塚製菓グループへのご支援、お引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。おかげさまで本年度、創業70周年を迎えることができました。これもひとえに、株主の皆様、お客様、お取引先様、そして温かく見守って頂いた地域の皆様のご理解とご協力の賜物と心より深く感謝申し上げます。ここに第65期第2四半期までの業績につきまして、ご報告申し上げます。

さて、わが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に、個人消費は緩やかな回復基調が続きました。しかしながら海外の政治情勢への懸念や地政学リスクの高まりから依然として先行き不透明な状況で推移しております。このように、経営環境は大きく変化しており、新たに取り組むべき課題に直面しております。

私たちは、この変化に適応して経営計画を達成するために、改めて創業の思いを胸に刻み、新たな社会的価値・経済的価値を生み出す挑戦を続けてまいります。

今後も岩塚製菓グループは、「お米」のおいしさ創造企業として、国産米100%にこだわり、日本の食文化である「米菓」を「BEIKA」として世界中の人々に広め、おいしさの笑顔をお届けしてまいります。株主の皆様におかれましては、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2017年11月

第65期(2018年3月期)第2四半期までの業績

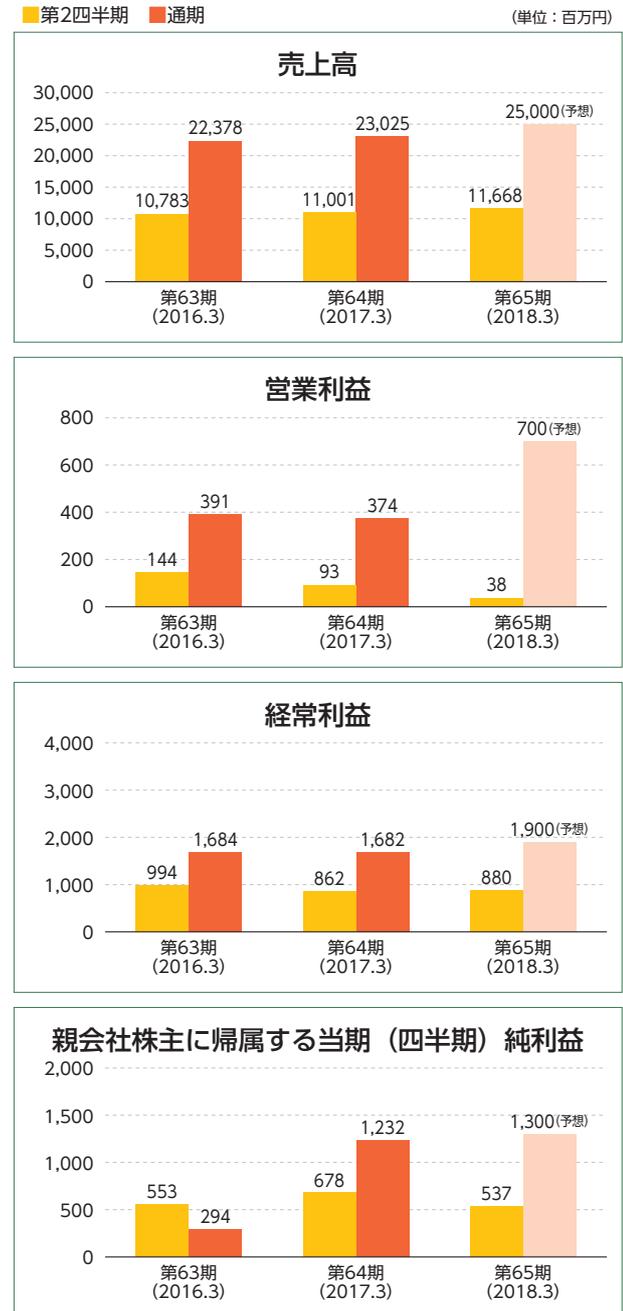
営業部門におきましては、国産米にこだわり、主力商品の拡販に注力することで岩塚ブランドの認知率アップに努めてまいりました。特に、「創業70周年ありがとうキャンペーン」を展開し大変好評を頂きました。また、ライフタイムバリュー戦略として、子供たちに人気のあるキャラクターを使用した販売促進を「味しらべ・お子様せんべい」で展開して、「キッズ・ジュニア世代」のシェア拡大に取り組みました。一方、ジャガイモ原料の不足によるポテチ騒動などの影響で「ふわっと」が広く市場に配荷され伸長しました。新商品では、健康を意識するお客様を中心に「もち麦とごませんべい」が評価され売上増に貢献しました。しかし、天候不順による夏場のおつまみ需要の減少や景況の停滞感の強まりによる流通各社の価格競争へと波及したことやキャンペーン費用増などにより、安定した利益確保が厳しい環境となりました。

製造部門におきましては、生産性の向上を目的とした自動化設備を「ふわっと・アソート」ラインに導入しました。また、全社取り組みで、不良低減活動を行い、製造原価を下げることができました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、116億68百万円（前年同四半期比6.1%増）、営業利益は38百万円（前年同四半期比59.3%減）、経常利益は8億80百万円（前年同四半期比2.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億37百万円（前年同四半期比20.8%減）となりました。

通期の見通しにつきましては、連結売上高は250億00百万円（前期比8.6%増）、営業利益は7億00百万円（前期比87.1%増）、経常利益は19億00百万円（前期比12.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は13億00百万円（前期比5.5%増）を見込んでおります。

業績ハイライト (連結)



いつも、どの世代にも。ずっとそばに、岩塚のおせんべい。

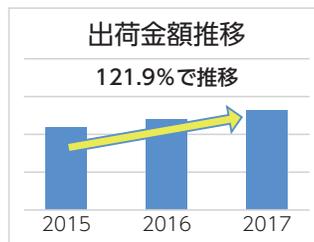
食べて頂きたいお客様に、様々な場面で商品を知って頂く機会をつくり、需要喚起・創造に取り組んでいます。



「味しらべ」においては、潜在的需要が期待できる若年層から学齢期のお子様をお持ちのお母さん方やお孫様がいらっしゃる中高年の方をターゲットにして、期間限定の人気キャラクターパッケージを発売したり、各種キャンペーンを実施して、需要機会を創造しました。



©2010AT/HKP



お父さん・お母さんを応援!

育児を頑張るお父さん・お母さんを応援するファンサイトを開設しました。お子様が「お子様せんべい」を食べているときのようなほっとひと休みできる時間をつくっていきます。お子様の成長を共に喜び、共に楽しんでいきましょう。

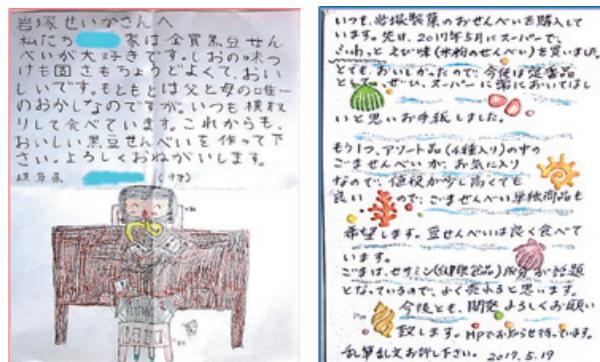


<https://okosen.com/>



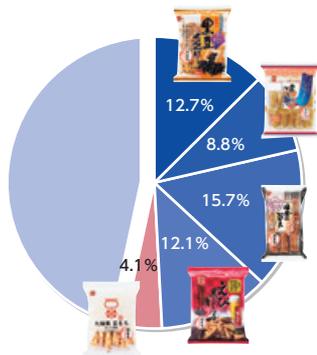
お客様からのお便り

貴重なご意見・ご感想を頂き、有難うございます。



Top5 基幹商品の確立

昨年度は、Top4として「黒豆せんべい」「味しらべ」「田舎のおかき」「大人のおつまみ」のシェア拡大に取り組みました。今期は、「大袖振豆もち」を重点商品に加えTop5ブランドに経営資源を集中し生産性の向上と利益率の向上を図ってまいりました。下期もより一層の「Top5」への資源集中を行ってまいります。



売上の50%以上を「TOP5」の商品群が占める

シニア層から絶大な支持を頂いている「黒豆せんべい」の姉妹品として健康素材を使用した「もち麦とごませんべい」が好評です。



「田舎のおかき」は、醤油・塩・ざらめ味を年間販売しながら期間限定商品を展開することでシェアアップしています。

「大人のおつまみ」は、食シーンに合わせて、きめ細かく商品展開をしてブランド認知度を上げています。

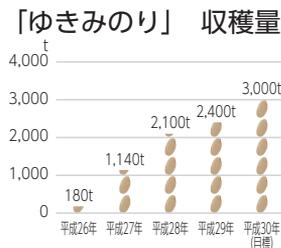


契約栽培米「ゆきみのり」

平成25年に新潟県のもち米の新品種として登録された「ゆきみのり」はあられ・おかきの加工に適していることから、当社では平成26年から契約栽培に取り組んでおります。地元JAと生産者とで設立した「ゆきみのり研究会」による育成調査、肥料試験と積極的な指導や営農研修会等を重ね目標とする品質と収穫を確保することができています。今年度は契約農家の拡大を図ることで収穫量を2,400トンまで高めることができました。栽培ノウハウの蓄積を進め、品質の高い米を安定的に調達できるように努めてまいります。



ゆきみのり研究会



「ゆきみのり」100%米菓『新潟あげもち』発売

「ゆきみのり」の安定した品質と収穫量が確保できたことから、このたび「ゆきみのり」を100%使用した贈答用商品『新潟あげもち』を(株)越後抄を通じて販売いたしました。カリカリとした食感と米の甘みを十分感じてもらえる『新潟あげもち』で、新潟土産としての需要を取り込みます。



(株)越後抄から発売した「新潟あげもち」

地域と共に地域に根差した取り組み

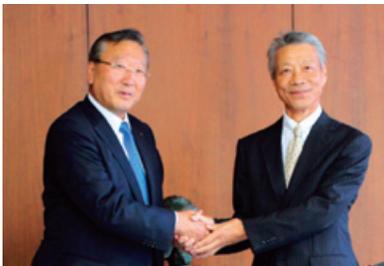
自然栽培米プロジェクト始動

今年2月に地元の農業生産法人ならびにJAと協力して自然栽培米に取り組むプロジェクトを立ち上げました。農薬・除草剤・化学肥料はもちろん有機肥料も一切使わない、土と水と自然の力だけで栽培する農法に挑戦し、10月には初年度の稲刈りを行いました。一般的な栽培に比べ収穫量は少ないものの大粒の米を収穫することができました。この取り組みにより、米どころ新潟の豊かな自然を守りながら、耕作放棄地の再生と活用、さらには環境にやさしい健康な米作りを支援してまいります。



長岡銘菓「米百俵」の製造権・商標権取得

今年8月に新潟県長岡市の銘菓「米百俵」の製造権と商標権を「(株)米百俵本舗」から取得しました。「米百俵」は煎餅粉と和三盆糖を配した落雁で、70年の歴史を持つ同社の看板商品です。このたび、同社の後継者不在という理由から当社で製造販売することになりました。当社グループの「おいしいものづくりネットワーク」に長岡銘菓「米百俵」を加え、ラインアップを充実するとともに後世に残る商品に育ててまいります。



(株)米百俵本舗 樋口社長(右)



長岡銘菓「米百俵」

熊本地震復興支援の継続



©熊本県くまモン#K23594 #K26484

昨年に引き続き、熊本県産米を使用した「田舎のおかき」を発売いたしました。今年はこのシリーズに加え「岩塚の新潟ぬれおかき」を発売し、多くの皆様からのご支持とご支援を頂きました。「食べて応援」をテーマに、熊本のおいしいお米を使用した商品を通じて、被災された皆様が一日も早く平常な生活に戻られることを願いながら、継続的な復興支援を行いました。

新潟県産米のおいしさを全国へ発信



当社が使用している原料米はすべて国産であり、その半分以上が新潟県産米です。新潟県産のお米のおいしさを通じて商品の品質をお伝えるために、新潟の新ブランド米「新之助」が当たるプレゼントキャンペーンを実施しております。詳しくは当社のホームページをご覧ください。

<http://www.iwatsukaseika.co.jp/>